

JENESYS2018 ASEAN 派遣プログラム第4陣の記録

テーマ：日本文化交流

派遣国：タイ王国

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、日本の高校生および引率者計18名がタイ王国へ派遣され、派遣国における、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進、及び日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2018年12月11日～12月19日の日程で「日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、政府関係者との面談、日本のODAサイト、日系企業等の現場の視察を行い、日本と派遣国との関係、及び日本の国際貢献に関する知見を深めました。そして、学校交流において、同世代の学生との友情を深めるとともに、日本や日本の文化の説明、実演を行い、日本の魅力を発信しました。帰国前の報告会では、プログラム中の発見と、プログラム経験を活かしたアクション・プラン（帰国後の活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加者所属先・人数】 岡山県立林野高等学校 18名

【交流時の日本事情の説明概要】 岡山県美作市と林野高等学校の紹介、吉井川舟唄踊りの披露、日本の伝統芸能の紹介（剣道・空手・書道・茶道）

2. 日程

12月11日(火)	【オリエンテーション】、成田国際空港出発 タイ・スワンナプーム国際空港到着
12月12日(水)	【表敬訪問】在タイ日本国大使館、 タイ社会開発人間保障省子ども青少年局 【訪問・講義聴講】JICAタイ事務所
12月13日(木)	【学校交流①】サトリ ワットラカン高校
12月14日(金)	【学校交流②】バンパコーウィッタヤーコム高校 【ホームステイ】バンコク市
12月15日(土)	【ホームステイ】 【ホストファミリーとの交流会】
12月16日(日)	【世界遺産視察】アユタヤ
12月17日(月)	【訪問・講義聴講】タンヤブリー貧困女性の保護施設 【ワークショップ】
12月18日(火)	【成果報告会】 タイ出国
12月19日(水)	帰国

3. プログラム記録写真

	
12月12日【表敬訪問】 在タイ日本国大使館	12月12日【訪問・講義聴講】 JICA タイ事務所
	
12月13日【学校交流①】 サトリ ワットラカン高校	12月13日【学校交流②】バンパコーウィ ッターヤーコム高校
	
12月14日【ホームステイ】	12月14日 【ホストファミリーとの交流会】
	
12月15日【世界遺産視察】アユタヤ	12月16日【訪問・講義聴講】 タンヤブリー貧困女性の保護施設



12月18日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生（林野高等学校）

今回の訪問を通して、私は何よりも人の温かさを感じました。初日の大使館訪問から始まり、学校交流、ホームステイや報告会、その後のお別れ会で、タイの人々は、常に笑顔で、明るく笑いながら気さくに話しかけてくれました。何より、たとえ互いの言葉は通じなくても、互いの文化が全く違っても、その問題を超えて、互いを尊重しあうことができるタイの人々の温かさがありました。私は、タイという、日本とは全く違う文化を持つ異国にいたわけですが、それを忘れるくらい、ホストファミリーの人方たちや学生の皆さんの温かさや陽気さ、あふれる優しさに触れ、本当に楽しい時間を送ることができました。

◆ 高校生（林野高等学校）

本当に今回の派遣事業に参加してよかったと、心から思っています。こんな素敵な出会いができ、タイという国の文化を知ることができ、日本という国についてももう一度考えることができました。今後も、今回の派遣で学んだ異文化交流の大切さと、日本の環境の良さを心において、生活していこうと思います。またタイに行く機会があるならば、次はもっと工夫して日本という国、タイという国について、世界に紹介していけたらいいなと考えています。自分の未来を切り開く大きな一歩として、本当に学ぶことの多かった貴重な経験ができました。

◆ 高校教師（林野高等学校）

今回 JENESYS2018 タイ高校生派遣プログラムに引率者として参加し、生徒とともにタイについて学び、日本の魅力を発信する中で、「経験に勝る学びは無い」ということに改めて気づかされました。インターネットで検索したら、多くのことがすぐにわかってしまう時代に生きる現代の高校生にとっても、自分たちの目で見、肌で感じ、口で味わい、実際にタイの方々と話し、「本物を学ぶ」といことを体験できたことは、本当にかげがえのない経験であったと思います。普段の高校生生活では、決して訪れることのできない場所、出会うことが出来ない人々との様々な交流を行い、多くを学ぶことができたことは本人たちの一生の財産となるであろうと思います。今後も積極的にタイの魅力、日本の魅力を発信していきたいと思っています。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 高校生（バンパコーヴィッタヤーコン高校）

今日はとても楽しい一日でした。日本の生徒のプレゼンテーションで日本についての知識が深まり、日本がもっと好きになりました。日本人生徒は皆可愛かったです。またこの様な交流プログラムに参加したいと思いますし、日本の皆さんにもう一度会いたいと思います。

◆ 高校生（サトリ ワットラカン高校）

日本の生徒はとても友好的でかわいかったです。皆さん楽しい人達で、タイが大好きでした。私は、新しい日本の友達ができ、連絡先を交換しました。ずっと友達でいられるとよいです。日本の生徒のプレゼンテーションはとても素晴らしく、私は日本人のことを学ぶことが出来て、嬉しかったです。

6. 参加者の対外発信

 shuka1231さん、他40人が「いいね！」しました mizuho.0930 We went to SATRI WATRAKANG SCHOOL. We had a presentation there. Also, we learned Thailand's number and we tell they Japanese number. I did a lot of other things. #thailand #itwasfun	 0509mizukiさん、他39人が「いいね！」しました mizuho.0930 We went to Nihonjin-mura and Ayutthaya. It was very big. Also, I understood about what Yamada Nagamasa was doing in Nihonjin-mura. #thailand #ayutthaya
サトリワットラカン高校に行って、日本紹介のプレゼンテーションを実施しました。	日本人村に行きました。とても大きいところでした。山田長政が日本村で活躍していたことを学びました。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 3. Our Action Plans ② Put Thai numbers in school ex. on the stairs and bulletin board	【岡山県立林野高等学校】 ① SNS の共通アカウントを作成し、継続した日本の魅力発信を行います。 ② タイ語の数字を学校の階段や掲示版に掲載し、紹介します。 ③ プログラム中の写真やビデオの展覧会を実施します。
--	--